

高砂市若者支援計画 (平成30年度) 施策評価シート

30年度評価シートより評価段階を変更しています。

〈変更前〉

【 5段階評価 】

- A: 予定以上に進捗している
- B: 予定通り進捗している
- C: かなり遅れている
- D: 取り組みが進んでおらず成果はなかった
- E: 事業を廃止



〈変更後〉

【 4段階評価 】

- S: 予定以上に進捗している
- A: 予定通り進捗している
- B: 遅れている
- C: 事業を廃止

平成30年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S: 予定以上に進捗している

A: 予定通り進捗している

B: 遅れている

C: 事業を廃止

該当欄にA～Cのアルファベットを記入してください。

【基本目標1】すべての若者の健やかな育成

施策の方向：相談支援体制の充実

施策番号	主な施策	今後の方向	30年度の取り組み・方向性	30年度実績（3月末現在）	回数・人数	30年度評価				31年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
1-1-1	若者相談支援窓口の設置	若者相談専用ダイヤル（若者サポートライン〔仮称〕）を設置し、一元的に相談を受けて、面談や専門的な機関を紹介・案内するなど、適切な支援に繋げる相談体制を推進します。	若者相談専用電話（高砂市わかものサポートライン）を設置し、若者に関する相談に対応する。	4月に若者相談専用電話（高砂市わかものサポートライン）を設置し、若者に関する相談に対応している。	相談件数 7件		A			若者相談専用電話（高砂市わかものサポートライン）により、若者に関する相談に対応する。	未来戦略推進室 （若者・青少年支援担当）
1-1-2	若者相談支援情報の発信	若者や市民の方々に、相談者への支援情報を分かりやすく周知する取組みとして、市内の学校や施設へパンフレットを配布し、また、広報や市ホームページ等で情報発信を行います。	若者相談支援情報を市民に広く周知する。	相談窓口を一覧表にまとめた「高砂市若者相談窓口ガイド」を作成し、広報6月号に挟み込み、全戸配布した。別途「窓口ガイド」を作成し、1学期の終業式に市内の全小学校、中学校、高等学校の児童、生徒に配布できるように、学校に配布した。	広報 37,000部 児童、生徒 12,000部		A			ポスターを製し、若者相談支援情報を市民に広く周知する。	未来戦略推進室 （若者・青少年支援担当）

施策の方向：就労支援体制の充実

1-2-1	就労支援の連携	障がいも含め、様々な問題を抱え思うように仕事に就けない、就職後に仕事に定着できないといった若者が見受けられます。こうした若者に対して、ハローワーク加古川、就労支援サイト「おしごとステーションたかさご」、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実を図ります。	ハローワーク加古川、就労支援サイト「おしごとステーションたかさご」、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実を図ります。	関係機関との連携の構築に努めている。	—		A			ハローワーク加古川、就労支援サイト「おしごとステーションたかさご」、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実を図ります。	未来戦略推進室 （若者・青少年支援担当）
			連携大学等3校と、市の課題・施策や新規連携事業の検討に実施担当課が積極的に取り組めるよう支援する。	連携大学等3校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援した。	36件		A			連携大学等3校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援する。	経営企画室
			平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接会」を開催し、就職を希望する女性を支援する。	平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接会」を開催した。	1回開催 参加企業24社 参加者32名	S				平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接会」を開催し、就職を希望する女性を支援する。	未来戦略推進室 （男女共同参画センター）
1-2-2	地域若者サポートステーション（あかし若者サポートステーション／サテライト播磨〔加古川〕）との連携	地域若者サポートステーションと連携し、働くことについて様々な悩みを抱えている若者未就労者を対象に、社会参加・就労へと導くため、キャリアカウンセリングを中心とした就労プログラム（セミナー、職場体験等）により、個々の置かれた状況に応じて、個別的、継続的に支援を行います。	あかし若者サポートステーション／サテライト播磨〔加古川〕地域若者サポートステーションと連携し、働くことについて様々な悩みを抱えている若者からの相談に対応し、個々の置かれた状況に応じて、個別的、継続的に支援に努めます。	あかし若者サポートステーション／サテライト播磨〔加古川〕地域若者サポートステーションと連携している。4月に若者相談専用電話（高砂市わかものサポートライン）を設置し、若者に関する相談に対応している。	0件		A			あかし若者サポートステーション／サテライト播磨〔加古川〕地域若者サポートステーションと連携し、働くことについて様々な悩みを抱えている若者からの相談に対応し、個々の置かれた状況に応じて、個別的、継続的に支援に努めます。	未来戦略推進室 （若者・青少年支援担当）
			あかし若者サポートステーション及びひめじ若者サポートステーションと連携し、個別相談やセミナー等を実施する。	あかし若者サポートステーション及びひめじ若者サポートステーションと連携し、個別相談やセミナー等を実施している。	相談16回12人 セミナー8回 39人		A			あかし若者サポートステーション及びひめじ若者サポートステーションと連携し、個別相談やセミナー等を実施する。	産業振興課

施策番号	主な施策	今後の方向	30年度の取り組み・方向性	30年度実績（3月末現在）	回数・人数	30年度評価				31年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
1-2-3	播磨圏域連携中枢都市圏の連携	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携して、若年求職者や女性等の就労につながる各種就労支援に取り組みます。（ジョブトライアル事業、合同就職説明会等の共同開催、若年層等への就労支援、職業訓練講座）	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行う。	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行っている。			A			播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行う。	産業振興課

【基本目標2】困難を有する若者やその家族の支援

施策の方向：支援のための連携

施策番号	主な施策	今後の方向	30年度の取り組み・方向性	30年度実績（3月末現在）	回数・人数	30年度評価				31年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
2-1-1	若者支援地域ネットワークの構築	様々な分野の機関と連動する「高砂市若者支援地域ネットワーク（仮称）」を構築し、社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者やその家族への総合的な支援の充実を図ります。	要保護児童対策地域協議会、青少年健全育成連絡協議会、青少年補導委員協議会、青少年センター運営協議会、民生委員児童委員協議会、子ども会育成会連絡協議会、連合PTA協議会等の関係機関との連携強化に努める。	関係機関との連携強化に努めている。	—		A			要保護児童対策地域協議会、青少年健全育成連絡協議会、青少年補導委員協議会、青少年センター運営協議会、民生委員児童委員協議会、子ども会育成会連絡協議会、連合PTA協議会等の関係機関との連携強化に努める。	未来戦略推進室（若者・青少年支援担当） 【各関係機関】 ・市関係部局 ・国の機関 ・県の機関 ・各種協議会
2-1-2	ひきこもりの支援	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族との面談、訪問支援を行うとともに、回復過程にあるひきこもり当事者に対する社会参加訓練等を支援します。また、当事者のグループ活動を支援し、復学や就労等の社会参加を促します。	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族への支援に努めます。	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携している。	0件		A			兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族への支援に努める。	未来戦略推進室（若者・青少年支援担当）

【基本目標3】若者の成長のための社会環境の整備

施策の方向：若者の育成や地域活動の推進

施策番号	主な施策	今後の方向	30年度の取り組み・方向性	30年度実績（3月末現在）	回数・人数	30年度評価				31年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
3-1-1	若者の地域活動グループの設立や活動の支援（未来戦略推進活動支援補助金）	若者が主体となり地域活動を行うグループづくりと活動を支援し、若者が地域社会と関わり社会性や豊かな人間性を育むことに繋がります。	たかさご未来総合戦略を促進するため、市民活動団体の新規設立や活動に必要な経費の一部を補助する	グループ設立支援型3事業、活動支援型13事業に交付決定済み			A			現状では若者からの申請が少ないため、若者が自らが企画し活動できるよう事業の広報に努め、若者活躍を推進する	未来戦略推進室（未来戦略事業推進担当）
3-1-2	成人式の企画・運営	新成人に成人式の企画・運営に関わってもらうことにより、大人への第一歩を踏み出す機会をつくります。	新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議してもらい、内容の検討及び当日の運営に参画してもらう。	新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議している。	新成人成人式運営委員6人 運営委員会3回		A			新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議してもらい、内容の検討及び当日の運営に参画してもらう。	未来戦略推進室（若者・青少年支援担当）
3-1-3	大学等連携協定による学生の地域活動への参加	市と大学等が連携し、学生が地域活動に参加することで活力ある個性豊かな地域社会の創生・発展と学生の社会への参画意識を育みます。	連携大学等3校と、市の課題・施策や新規連携事業の検討に実施担当課が積極的に取り組めるよう支援する。	連携大学等3校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援した。	36件		A			連携大学等3校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援する。	経営企画室

施策番号	主な施策	今後の方向	30年度の取り組み・方向性	30年度実績（3月末現在）	回数・人数	30年度評価				31年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
3-1-4	若者の市政への参画の促進	若者が主体的にまちづくり（市政）に参画できる取組を進めます。	市民参画を促進するため、「夢のシロ」事業の推進、アダプトプログラムによる支援及び市民ボランティア情報の発信を行う。	「夢のシロ」事業については、平成30年度事業として3団体（3事業）に補助金を交付した。また、平成31年度事業については、4事業を選定した。アダプトプログラムは、新たに2団体と合意書を交わし、活動団体は計8団体となった。市民ボランティアは、登録者に随時ボランティア情報（万灯祭、アオサ清掃等）を発信した。（参加者：115人）	左記参照		A			「夢のシロ」平成32年度事業の募集については、さまざまな形（ポスター掲示、市HP、フェイスブック等）で周知を行い、今年度（6事業）以上の応募件数を目指す。アダプトプログラム及び市民ボランティアについては、引き続き制度のPRに努め、参加団体や登録者の増加を図る。	全課
			市役所の業務において大学生及び高校生をインターンシップで受け入れる	大学4校、高専1校、高校3校から学生を受け入れインターンシップを実施した。	大学生7名 高校生5名		A			市役所の業務において大学生及び高校生をインターンシップで受け入れる	人事課
			若い世代の投票意識を高めるため、公募による期日前投票所の立会人の選任と、市内4校の高校生による街頭啓発及び投票事務従事体験を行う。	平成30年9月2日執行の高砂市議会議員選挙において ①公募により主に30歳以下を対象として選任された選挙人が期日前投票所の投票立会業務に従事した。 ②8月28日にアスパ高砂において高校生が街頭啓発を体験した。 ③9月2日に投票所4箇所において投票事務従事を体験した。	①12名 ②2校7名 ③3校16名		A			平成31年度に執行される選挙において公募により期日前投票所の投票立会人を選任する。その際、30歳以下の選挙人を中心に選任し、若い世代の投票意識の向上を図る。 平成31年7月執行予定の参議院議員通常選挙において市内4校の高校生を対象として街頭啓発従事体験及び投票事務従事体験を実施する。	選挙管理委員会
3-1-5	若者の結婚新生活への支援	新婚世帯や子育て世帯が高砂市で暮らしやすくするため、家賃や住宅新築など新生活を支援します。	若い世代の人口減対策として、家賃補助金や、新築奨励金により新婚世帯や子育て世帯に対し経済的支援を行う。	家賃補助金51件、新築奨励金220件の申請			A		新築奨励金は31年度で終了するので、これに替わる新たな若者世帯向け移住・定住施策を、今年度中に調査・研究し来年度の予算化に向け事務を進める。	未来戦略推進室 （未来戦略事業推進担当）	
3-1-6	青年の家の運営	青年の家の指定管理者の自主事業として、青少年などの地域団体とともに住民参加型のイベントを実施し、青少年と地域住民の交流を図ります。	自主イベントを増やし、地域住民との交流に取り組む。	自主イベントを増やし、青少年と地域住民との交流を実施した。	88回		A		自主イベントを継続的に実施するとともに、向島らしさを活かしたイベントを計画する。	生涯学習課	